

ほっぴ・ステップ・JUMP!

2001.10.10

vol.48 49 北海道の子どもと保父の会

～ 例会報告 ～

7月13日に幌北中央保育園で行われました。3月の総会以来の集まりだったのですが、忙しい時期だったのか、参加者はわずか5人と少々寂しいものでした。当初予定していた焼肉も人数の少なさから近所の居酒屋に変更し、7時30分には場所を移動しました。

今回の話しのテーマは「運動会！」行事を保育の中でどうとらえていくか、保育者主導でなく『子ども主体』の運動会をどうつくっていくか、行事を媒介にした地域とのつながりは？ 等々の話しは全くなく（それではしょうもないので桑原の保育園の取り組みを後ほど紹介します）、案の定居酒屋で飲んで食って話して終了・・・というものでした。

どんな話しをしたかはスッカリ忘れてしまいましたが、少々疲れぎみだった私は、みんなにパワーを分けてもらい、「よっしゃ、明日からまたがんばろう！」と思いつつ、地下鉄で家路についたのです。

三村さん、色々大変な時期に使わせてもらいありがとうございました。10月もよろしくおねがいしまーす！



帰りの地下鉄でのワンショット！

【お知らせ】

第11回全国男性保育者研究交流集会在11月23～24日に香川県坂出市で行われます。香川男保連が中心となって準備の真最中とのこと。香川ならではの「うどん実技講座」なんていうのもあり、興味津々の内容です。

全国の男性保育士に触れ、新たな刺激を求めに行きましょう！



うどんの絵を探したら冬になってしまった・・・

～メール通信～

田口憲司くんから待望の baby 誕生のメールがきました。(8/2)

- > すいません。また連絡遅くなってしまいました。無事生まれましたよ。
- > 7月17日に男の子が誕生しました。名前は恭大(キョウタ)と、名づけました。
- > (略)
- > この間の保父会はどうでした？
- > 最近大勢で酒を飲む機会も無く、参加したいな～と思っているのですがきっと
- > なかなか行けないんだろうな～とも、思っています。涙
- > ここ5日間夏休みだったのですが、家事(食事、洗濯、掃除)に追われて、
- > 何にも休んだ気になれません。この2週間で、子育ての大変さを身にしみて
- > 感じました。しかし、恭大の顔を見ると平気になるのは不思議ですね。
- > そんな話を耳にはしていましたが、まさかこれほどのものかとは、本当に
- > ビックリしています。親バカって怖いですね。どんどん親バカバカになって
- > いるのがわかります。かわいくってどうしようもありません。笑
- > また、とりとめもない文章になりましたが、報告まで・・・
- > P S
- > これから保育が変わりそうって思います。子どもを見る目変わりそうです。
- > 良い意味で・・・

旭川の佐々木君も happyなお知らせです。(6/26)

- > お久しぶりです。早速、最近の報告をします。
- > 六月十四日、午前四時に、赤ちゃんが無事に生まれました。一ヶ月早産
- > でしたが、体重2760グラムの健康な男の子です。名前は、一冨(いっさ)
- > です。8月から、自分の保育園に入園します。
- > 園生活では、7月7-8日のお泊り会に向けて大忙しです。ドラム缶風呂や、
- > 流しそーめん、テント宿泊など企画しています。
- > 若者保育士の会の顔美会は、旭川で開かれる、絵本の集いの保育担当を
- > 任されたので、企画でこちらも大忙しです。以上です。暑い日が続きますけど、
- > がんばってください。

函館の金子君は事情で6月から札幌に来て、一般企業に就職しました。

いろいろありましたが、happyなお知らせが来ました。(8/31)

- > 結婚します。今までズルズルとしてたけど、やっとけじめをつけます。
- > 今までは自分勝手にやってきたけど、これからはそうも行かなくなりました。
- > 明日来て頂ける方。残念ながらお越し頂けない方。未熟者の二人ですが、
- > これからもお付き合いの程、よろしくお願ひします。金子ゆきお

実際に会えなくても、こうしてメールで近況を知らせてくれるのは嬉しいものです。
メール・FAX・電話・手紙等で近況をお知らせください。



そういえば、A氏もMacを買ったそうです。

【がんばるかいでがんばる！～平岸保育園の運動会】

平岸保育園は3才から5才の子が一緒のクラスで生活する異年齢保育をしています。「落ちついて生活できる基盤を大切にしたい」という思いで、年齢活動は夏までほとんどなく、運動会の話し合いが前半のメイン活動になります（ぼつぼつと集まることはあるのですが、継続した取り組みはここまで行わないのです）。

お盆が終わり、子どもたちが揃った8月20日に年長組（らいおんさん）は集まりました。もちろん運動会の話しです。「子どもが主体になる運動会」というねらいのもとに、子どもたちの前半の成長ぶりを4月から順を追って振り返ります。できなかったなわとびを毎日続けることでできるようになったこと、サッカーをしても協力したりルールを作ってあそべるようになったこと、なによりらいおんさんとして保育園のリーダーになりがんばっている事・・・、そんな中から自分達の成長を見せたい！そんな会をしたい！がんばることがかっこいい！だから「がんばるかい」という会にしよう！



自分達で考えて運動会をつくりあげていこうという気持ちも高まり、そんな中から取り組みが始まっていくのです。それから9月8日までの3週間は、まさに保育士にとっては休む間のない3週間です。がんばるかいのテーマソングづくり（体操も兼ねた）、プログラムづくり、異年齢クラスと年齢での競技の準備、なにより年長児は運動会の“とり”をつとめる大切な役目があります。自分達のできることでちょっとがんばることでどんな発表ができるのか、保育者は原案をだし、子どもと一緒に考えて、修正してひとつの形にしていく、そのプロセスは楽しいけれど、やっぱりしんどい。時間もなかなか作れないというあせりと子どもの集中力を高めるための工夫・・・、胃がピリピリするくらいのスリリングな日々でした（子どもはがんばるものの、気持ちはいたってマイペース・・・）。

そのかいあって、当日は最高のモチベーションで堂々とやれるんだけどね。



こんな手の混んだ取り組みは大変だけど、「自分達でやるって決めたんだ」という思いは、子どものパワーを120%引き出すことができるんだと毎年痛感させられます。「やりたくない」という子が出てこないのは、そういう取り組みだからなのかなあと思います。

伝わりますか？こんな感じでやってます。みなさんのところはどうか？

桑原 一司

～つづやき～

昨年の11月に京都の朱い実保育園、大阪のいづみ保育園、熊取町第2保育所という経験豊かな男性保育士がいる保育園に、見学に行ってきました。保育雑誌に男性保育士の記事があれば必ずと
いっていいほど出ている、超有名な人たちです。2泊3日の日程でほとんど観光もせず（でもいづ
みの金沢さんや和田さんにごちそうになったり、なかなか見られないところを案内してもらった
り・・・、その節はお世話になりました！）、まじめに見学してきました。

本州の保育園は初めてで見るもの全てが新鮮でした。時間の流れがなんとなくゆったりとしてい
て、子ども達もがちゃがちゃしてなくて、肩の力を抜いて保育（生活）してるなぁという印象を受
けました。もちろん手を抜いているわけではなく、話せば子どもへの思いが湧き出てくるのですが、
なんか余裕があるというか・・・、とにかく自分の保育を振り返り、反省させられることばかりで
した。

先日、保父の会の仲間に加わった本間君が私の園にあそびに来ました。自分の保育が彼にはどん
な風に写っているのだろうか？ むかしむかし小田さんの保育を見たり考え方を聞いて「すごい
なぁ」と思ったように、自分の保育や考えが後輩に何らかの影響を与えるものになっているのだろ
うか。それとも・・・。

しっかり自分の足元を見つめなおしてみなきゃなぁ...、そんな事をふと考えてしまいました。

（桑原記）

【10月の例会のお知らせ】

10月19日（金）19：00から幌北中央保育園でおこないます。

話題の中心は運動会の報告と発表会の取り組み等についてです。まぁあんまり固い話しばかりに
なってもつまらないので、話題のひとつとして考えておいてください。

たくさんの参加をお待ちしています。

【よろしく！】

連絡網を作成するといっておきながら、なかなか進まず申し訳ありません。住所・電話番号に変
更があった方は早めにお知らせください。

連絡先・発行元

桑原 一司

事務局

001-0020 札幌市北区北20条西3丁目19番地

幌北中央保育園内 (011)716-1841 * (011)716-1852

～ 会長のお言葉 ～

すっかり秋ですねえ。でも夏はなかったねえ、キャンプにも行ってねえ、体重もなかなかへらねえ、なんだかんだと金がねえ、パソコンこわれて動かねえ、ねえねえ言っても始まらねえ・・・という訳でわたるでございます。

早いもので、現在いるまこと保育所にひろってもらって、10月で丸3年となります。Aヶ丘、M園、第1 Fちゃん、またM園（全部バレバレ）と来て、今のまことへ・・・。まこと以外のところで一番長いのはAヶ丘で3年。このまままことにいとすると、今年中に最長記録更新!!となるわけです。でもAヶ丘の3年とまことの3年と同じ3年でもなんだか感じ方が全然違ってきます。Aヶ丘の3年は肉体的にも精神的にもキツかったのですが、まことの3年はそれほどでもない。保育の内容的な違いもあるし、私自身の内面的な変化もあるだろうと思います。

そういえばAヶ丘の園長は“とにかく最初の3年間で大事。その3年間できちんと勉強するか、さぼるかによって、それ以降どんどん差がつく”とっていました。

私の最初の3年はAヶ丘、でも自分が今勉強して身になっているという実感はまるでなかった、というよりエライ忙しかったように思う。そして辞める時に思ったことは、“この3年間であって良かったな”と後々思えるようにすること・・・。その後、職を転々としているうちに、そんなことはあまり考えず、次のこと、次のことと前だけを見て歩いてきました。

そしてまことに入って3年、最近やっと冷静に振り返ることができてみたいで、最初の3年は私にとって“良い”3年ではなかったけれど、“必要”な3年間だったんだなあと思っております。そして前があるから今も保育士を続けてるんだなと考えるようになってますね。

さて最初の3年間勉強していたのかどうか、それは未だ良くわかりません。でも最初の3年以上に今知りたいことが山ほどあるし、やりたいこともたくさんある。“あなた無責任よ”とAヶ丘の園長の声が聞こえてきそうですが、仮に最初の3年間さぼったにしても、今からでも充分修復可能だと勝手に思うようにしています。以上30代おっさんの主張でした。ちょっとまじめすぎたかな、でも最近本当にそう思います。みなさん元気ですか。飲み会でもやりたいですね。

今月のオススメの絵本「でんせつ」（作/工藤直子・絵/あべ弘士 理論社）本人にあったからというわけではありませんが、どーれ、どんなもんだと思って読んでみたらなかなか面白い。子どもが読むのもよいけれど、大人が読んで動物園に行つて、道で、水族館で、思いだしてニヤニヤするのも良いかもね。

映画は最近見てないな -、反省です。それでは、かぜしくなよー

わたる

本当は巻頭言だったのですが、できあがった日に原稿がきたもので、あいだにはさみました。ご了承ください。